

病院における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	8～9	職員駐車場に車を止め、職員玄関に向かう途中、正面玄関前にて氷に足を滑らせ仰向け状態に転倒し、頭部を強打する。その他に尻を強打しており、当日に痛みはなかったが、翌日に腰部痛が発生し、尾骨骨折だと分かった。	56	100 ～ 299
1	18～ 19	帰宅のため職員玄関を出て歩行し、4m時点で右足から滑り、バランスを崩し転倒し、臀部を強く打ち仰臥位に倒れた。しばらく（3分位）動けず倒れていたが、何とか自立で起き上がり歩行して帰宅した。地面の状況は、暖気で水たまりの下がアイスバーンの状態であった。そのあと自宅に戻り、痛みで動けなくなった。	46	—
1	8～9	職員玄関まで歩いている途中、病院建物1Fの連絡通路が凍っていて気をつけて歩こうと思い、右足を出したときに滑って体が浮いた様になり、右側から落ちて地面に叩きつけられ、骨折した。	58	100 ～ 299
1	8～9	職員駐車場から病院に向かって歩いている途中、滑って転倒し、左肩を打ってしまった。徐々に痛みが出現した。	64	1000 ～ 9999
1	8～9	出勤時、更衣室の前でつまずき転倒し、両手・両膝をつき打撲した。	57	100 ～ 299
1	8～9	清掃作業中の部屋の扉を開け、部屋に入る際、清掃用具が扉にひっかかり、前に転んだ。	72	300 ～ 499
1	8～9	階段を踏みはずし受傷した。	42	10～ 29

1	1～2	勤務が終わり、病院を出て車へ向かう際、路面が凍結しており足を滑らせ大の字に転倒、後頭部及び背中周辺を強打した。	61	300 ～ 499
1	9～ 10	駐車場に車を止めて病院敷地内を歩いていたら、地面が凍結していて滑って膝について受傷した。	60	
1	4～5	早朝の出勤時、駐車場に車を止めて職員通用口に向かう途中で、一部氷っていた部分があったが気づかず、その上を歩いたため転倒し骨折した。	53	100 ～ 299
1	16～ 17	3階病棟病室で夕食前に患者におしぼりを配っていた。ベット周囲に配線があり気を付けていたが、電気毛布のコードが垂れ下がっていたのに、上に布団が掛かっていて気付かずにつまずき、右肩から転倒し、床へ右手を強打した。帰宅後、右手関節に痛みと腫れが生じた。	64	500 ～ 999
1	9～ 10	病室の清掃を終えて部屋から出ようとした時に空気清浄機のコードに足を引っ掛けて転倒し、右ひざと左の手のひらを床にぶつけた。	66	100 ～ 299
1	8～9	3階病棟病室に患者さんのバイタル測定のため訪室した際、電気毛布のコードにつまずいて膝をつき、左足を負傷した。	66	100 ～ 299
1	0～1	職場の南側駐車場で、準夜勤の勤務が終わり、帰路のため駐車場に停めてある自分の車に向かう途中、除雪された雪が日中に溶けており、夜に氷点下になった事で、雪どけ水が凍結し、足を滑らせ転倒した。	60	100 ～ 299
1	11～ 12	2D病棟お風呂前にて入浴介助中、患者の上半身を本人が下半身を他スタッフが抱え、ベッドから入浴用のストレッチャーへ移乗させようとした際、床に水があったため滑り、転倒した。抱えていた患者をかばったため、患者の体が左膝の上に落ち、左膝内側の半月板を損傷した。	51	100 ～ 299
1	8～9	出勤時、外来正面玄関横のゴミ箱付近歩行中地面が濡れており、滑って体勢を崩し転倒する。転倒時、前方向に転倒したため右手が体の下敷なり、右肘が胸部辺	50	50～ 99

		りに当たり、一時呼吸苦となり動けなくなる。		
1	23～ 24	夜勤中に電子カルテを操作していた際、ナースコールに対応しようと立ち上がった時、足組みをしていた右足にバーコードリーダーのコードが引っかかり、バランスをくずし転倒し、左臀部から股関節周辺を強打した。	60	500 ～ 999
1	12～ 13	昼食のお膳を片手に1人分ずつ（計2人分）持ち運んだ際、部屋の入口付近で床に躓きバランスが崩れ、左側を下にして転倒し、左肩と左膝を打撲した。左膝を内出血し、打撲痛があったが、歩行は可能であったため仕事を続けた。記録時に左肩の痛みが感じられ、左肘は曲がるが左腕を上げることができなくなり、後日に左肩腱板損傷の診断となった。	64	500 ～ 999
1	10～ 11	病理検査室内で、机で記録をしたあと立ち上がって移動しようとした時、机の隣の棚につまずいて、左足を捻り転倒した。	43	100 ～ 299
1	15～ 16	管理棟別館1階のゴミ貯留排出機にゴミを捨てようと、ゴミ貯留排出機に取り付けてある鉄製の3段ある階段を上り、蓋を開けてゴミを捨てた。その後、気づいた時には階段下に転落しており、直前の記憶がなく、詳しい状況は不明である。	49	—
1	10～ 11	下駄箱前で靴を履きかえた後、立ち上がる際にバランスを崩して左側に転倒し、左大腿部のあたりを強打した。その後、疼痛があり、左大腿骨頸部骨折と診断された。	61	300 ～ 499
1	10～ 11	浴室で患者の入浴介助中、洗面器を持って掛け湯を貯めた槽の所へ歩いて移動していたとき、足を滑らせ転倒し、頭部と腰部を強打し負傷した。	46	300 ～ 499
1	8～9	出勤し、院庭を通過して管理棟へ移動中につまずき転倒し、右手をついた際に右上腕部を骨折した。	61	100 ～ 299
1	13～ 14	施設内の利用者居室で、利用者の口腔ケアの介助を行っているとき、口腔ケアを終えた方のガーグルを受け取りに行こうとした。そのとき急に利用者が歩行器を出したため、それに躓いて転倒し、大腿部を強打した。	53	100 ～ 299

1	10～ 11	入院病棟裏のリネン類の搬入・搬出口にて、感染性衣類を持ち専用のボックスに入れようと歩行中、足元に2m径の排水パイプが置いてあり、足がそれに当たり、右膝から地面に着く形で転倒した。	60	～ 499
2	11～12	病院敷地内の喫煙所から病院裏側の細道を通り食堂へ行く途中（昼休み中）、雪で傾斜になっていた凍結した路面で滑り、後方に転倒し臀部を強打した。	38	～ 999
2	11～12	2階東病棟室内にて、患者の体温測定施行中の患者のベッド柵に取り付けているハルンバックの付属の紐に右足が引っ掛かりその影響でバランスを崩し臀部から床に転倒した。	57	～ 299
2	22～23	病院敷地内の駐車場で帰宅途中、駐車場の外灯が全て消えていて真っ暗な中、高さ80cm位の駐車場通行止めに右足が引っ掛かり転倒し腰を捻りながら強打した。	44	～ 299
2	12～13	会議が終了し、勤務先に徒歩で戻る途中、歩道に足を滑らせて転倒し骨折した。	43	～ 9999
2	13～14	病院内事務室にて、事務作業を終え椅子から立ち上がろうとしたところ、隣の椅子に足を引っ掛け転倒し、右足首を捻ってしまった。患者を待たせしていた焦りから、本人の不注意で発生してしまった。周囲に視界を遮るものや事故に繋がるようなものは置いていなかった。	38	～ 9999
2	17～18	1病棟（病院施設内）において患者様がこぼしたお茶で床が濡れており気付かずにその場所を通った時、足を滑らせ転倒した。その際左膝を捻った。	46	～ 299
2	16～17	詰所内で、パソコンに向かい作業をしようと座ろうとした椅子に他の職員が座ってしまい、本人はそのまま後方に転倒し、尾てい骨周囲を打撲した。	43	～ 999
2	7～8	病棟で朝食の配膳中、転倒し左膝を打撲し、受傷した。	58	50～ 99

2	19~20	病室で患者の洗面をしようとベッドフレームに両足を接触させ立位で作業を行った。作業が終わり、身体の向きを変え移動しようとした時、転倒予防センサー（転倒ムシ）のコードに右足が引っ掛かり、絡まった状態で左斜め前方に転倒した。その際、左膝はACL装具を装着していたために屈曲できず、左膝を捻る形で打撲した。	56	500 ～ 999
2	14~15	患者に高周波電源の電極を大腿に貼付するため、患者の左側に入った。通常は右側から貼付することが多いが、右側に医師2名がいたため左側から貼付した。貼付後に右側に戻ろうとした際、ベッド下の足台に足を引っ掛けてしまい、右肩を打撲した。	62	1000 ～ 9999
2	15~16	病院浴場内において、被介護者の入浴介護作業中身体を移動させようとしていたところ、足を滑らせて尻もちをついた際に、臀部を打撲して尾骨骨折を負ったものである。	54	50～ 99
2	8~9	病棟中の1階病棟から2階病棟に上がる1階階段踊り場で、患者様の洗濯物を大きな袋に入れて屋上の洗い場に運ぼうとした時に、洗濯物を入れる大きな袋を持ち上げ階段を上がろうとした時に袋の裾を踏み転倒してしまった。右側に洗濯物があり、右足は大丈夫だったが左足を打ちつけてしまった。	65	50～ 99
2	15~16	「処方箋」を運んでいる時に自立式のホワイトボードの脚に躓き、転倒し、「処方受付」の取っ手で強く胸を打ち、左肋骨を骨折した。	67	100 ～ 299
3	9~10	病棟1階リネン庫内で包布を梱包しているとき、足元に置かれていた包帯に右足をつまずき転倒し、右肩と左膝を打撲した。	49	50～ 99
3	8~9	駐車場内を歩行中、アスファルトが凍結しており、足を滑らせ後方に転倒し、左肘を強打した。疼痛はあるが業務を実施していたところ、徐々に疼痛が悪化し業務継続が不能となる。	48	100 ～ 299
3	11~12	通路出口付近で昼食をとりに病院内の食堂に行こうとした際、病棟に運ぶ配膳車を避けようとして前のめりに転倒した。その際に右口唇右側・両手・両膝を打撲し、そのあと徐々に右手首付近の腫張と痛みがあらわれた。	60	100 ～ 299

3	8~9	仕事のため駐車場に車をとめ、走って道をはさんだ建物の職員用入り口付近（アスファルト）で前方に転倒した。その際に下顎を殴打し出血し、下顎が不安定となり、骨折のため入院した。	52	30～ 49
3	11~12	病棟4階のスタッフ入口内でキャスター付きの台車に洗濯機を入れ、それを整理するため袋を取り出ときにキャスターが動くので足で固定させようとして、洗濯物を引き上げる際にキャスター付きの台車が動いてしまい、バランスを崩して膝を強打した。	52	100 ～ 299
3	9~10	訪問介護の為、自転車で高齢者住宅へ向かい、入り口前で自転車を止めようとしたところ、バランスを崩して左側へ転倒し、左大腿骨頸部を骨折した。	57	30～ 49
3	5~6	流しにて経管栄養の片付けをする為に談話室を通過して往來していた際、長椅子の隣にある棚に入っていたダンボールがはみ出しており、それにつまずき転倒し、両膝と右手を負傷した。	63	300 ～ 499
3	13~14	3階病棟から1階廃棄物集積場にゴミ袋（ビニール製、患者様の使用済み紙オムツ等が入ったもの）を捨てるため、3階から2階踊り場に数袋投げおろし、それを1階におろそうと2階踊り場に降りた。その際にゴミ袋を踏んでつまずき、左足を捻り転倒し、左足に痛みがはしった。	60	100 ～ 299
3	15~16	病院の建物内にて、2F医局の前で先生方の食事の後片付けをしようと食器を集め栄養科に持っていかようと思っていたところ、テーブルの脚につまずき転倒した。	49	100 ～ 299
3	11~12	4階病棟ナースステーション前の廊下にて、同僚を呼び止めようとしたところ、サンダルが床に貼りついたような状態になり、バランスを崩して転倒した。	63	100 ～ 299
3	14~15	経管栄養を作り廊下へ置いておいたところ、チューブから液体が漏れていた為、おしぼりで水ぶきをした箇所を自分で歩き滑って転んだ。	45	100 ～ 299
		廊下で駆け足で移動中、躓いて転倒してしまった。付近の状況としては、転倒場所に段差や滑りやすい状況は無かった。両手を伸ばし飛ぶ込むような姿勢で腕か		100

3	16~17	ら転倒したため、左腕を内転するように床に叩きつけてしまった。左腕から肩に痛みがあり様子を見ていたが、痛みが増強し、肩・首・頭周辺に突っ張るような痛みが出現した。	41	～ 299
3	10~11	内科外来診察室にて診察介助をしていた際、診察室入口で次の受診患者の来院を確認した後、医師の横を歩行中につまずいて前方に転倒した際、顔面と右上腕を床に打ちつけ、鼻出血、右頬部打撲、右上腕を受傷した。	50	～ 9999
3	16~17	タクシーを待とうと病院の正面玄関の階段を下りる際に、階段が雨で濡れていて滑って負傷した。	69	30～ 49
3	19~20	B3病棟食堂で看護夜勤勤務中、精神症状を有する入院患者が水を多飲しているところを他の看護師が注意し、コップを預けるようにうながしていた。その時その入院患者が興奮し看護師に暴力をふるったため、背後から制止を試みたところ、患者の動きが大きくて患者と共に転倒し、腰部を捻った。	36	～ 499
3	10~11	病棟廊下で患者の尿失禁の対応中、オムツを取りに行こうと病室から出た時に、靴の裏に尿がついていたため滑り、中央トイレの前にある黄色の点字ブロックに躓き、とっさに手をつき転んだ。	54	300 ～ 499
3	17~18	5階病棟の廊下から詰所に入った際、他の職員が座っていたイスの脚に右足が引っかかり、前向きに転倒し、右手と右膝を強打した。	58	100 ～ 299
3	7~8	職員駐車場に車を止め勤務のため管理棟に向かい歩いていたところ、砂利道に足を滑らせ左足首を痛めた。	37	100 ～ 299
3	6~7	施設内に於いて入所者のおむつ替えをしようと入室した時に、入所者がベッドから転落しても大丈夫な様にベッド下に置いてあったマットレスを踏んでしまい滑って転倒した。	62	100 ～ 299
3	10~11	病室で患者の体温・血圧を測り終えて歩き出した際、ナースコールのコードに足が引っ掛かり転倒し、右膝を床に強打した。	64	300 ～ 499

3	11~12	病室で患者様の見守中、入口ドアが開いていることに気付き、閉めようと移動したとき、転倒防止のため床に敷いてあった布団のシーツに足が絡まり転倒し、壁で左肩を打った。	44	100 ～ 299
3	10~11	保育に必要な用品（リボン等）を学外の店舗へ購入に行くため、通勤に使用している自家用車を駐車場に取りに行った際、駐車場の車止めブロックに躓き転び、左膝を強打し、左後十字靱帯断裂を負った。	48	1000 ～ 9999
3	11~12	訪問看護の仕事で訪問先の家を訪ねた帰りに、玄関の段差で足関節を捻った。	48	100 ～ 299
3	16~17	夜勤のため出勤し、申し送りを受けるためキャスター付き椅子に腰を掛けた時にバランスを崩し、床に座り込んでしまった。その後、立ち上がることが出来ず、夜勤業務を続けられなくなった。	60	100 ～ 299
4	14～ 15	病棟内廊下にて、両手に体交枕を持ち歩いていたときにつまずき転倒し、左手をつき受傷した。	49	100 ～ 299
4	15～ 16	患者のオムツ交換中、次の部屋に移動する際、部屋のカーテンの下に点滴を合わせる為の踏み台に躓き、左膝を強打してしまった。	53	100 ～ 299
4	11～ 12	患者更衣室の排水口を清掃する為、洗剤をとりにラウンジを歩いていた時に転倒し、左手第5指を負傷した。	63	100 ～ 299
4	16～ 17	院内の洗濯室に洗濯物を取りに行き、戻る際に足元にあった洗剤が入っているダンボール箱に気づかず、足がひっかかってしまいその場で膝から転倒してしまった。	74	100 ～ 299
4	1～2	病棟病室において、患者を支えながら床に敷いてある布団に寝かせようと誘導している時、患者が転びそうになったため、怪我をしないようにかばった際にバランスを崩し、患者と共に倒れてしまった。その際に右親指付け根を床についてし	52	300 ～ 499

		まい、右手が患者の下敷きとなり、体重が右手にかかった。		
4	15～ 16	手術室内で関節鏡下腿修復術を行っていた際に、関節手術用灌流液（アルスロマチック）を交換するために保温庫に向かった。その際、床にこぼれていた灌流液で足が滑り、転倒しないように足に力を入れたがひねってしまい、左膝から転倒した。床には給水マットがひいてあったが、少し離れた位置であった。	39	100 ～ 299
4	15～ 16	法人内デイサービスにてレクリエーションの踊りをしている時に、直前に使用した旗が足元にあることに気付かず、左足かかとで旗を踏み転倒し、尻もちと左手首を着いた際に体重がかかり骨折した。	62	50～ 99
4	11～ 12	手術室から医療器具を運び出す際に器具を乗せたワゴンのキャスターが自動ドアの溝に滑落し、器具が転落するのを防ごうとした際に自身のバランスを崩し、左手を床に強くついた。	62	50～ 99
4	13～ 14	閉鎖病棟内出入口近くで、看護師Aが受持患者を売店へ誘導するためドアを開扉して患者を外に出している時、帰宅願望のある患者Bと一緒に外へ出ようとしたため看護師Aが制止しようとして患者Bの左手を両手でつかんで引っ張ろうとした時に、両手がすり抜けるような格好で看護師Aが後方へ転倒し、第一腰椎圧迫骨折を負った。	53	100 ～ 299
4	18～ 19	病棟内の廊下で、夕食後歩行介助が必要な患者様を二人で病室へ誘導する際、自身は患者様の左側に立ち、左腕を握っていたが患者様の抵抗があり、立ち止まられたり座り込まれたりされた為バランスを崩し、左側足底部左第5足趾側に屈曲した状態で転倒した。	55	100 ～ 299
4	15～ 16	患者のオムツ交換の為、5階から6階へ階段を移動中に、最上段の階段のへりにつまずき転倒し、左手をついた際に左手橈骨・尺骨骨折を負った。	64	500 ～ 999
4	13～ 14	ナースステーションで作業し、病室に向かう際にナースステーション出入口のところでつまずいて、ドアの枠部分に頭部を強打した。	60	100 ～ 299
	12～	3病棟看護師（被災者）が、3階から1階へ階段にて降りる途中、2階踊り場付近に		50～

5	13	到着した際に2病棟の廊下側から続く扉が開いたのを避けようとしてバランスを崩し、階段側を頭にして右側臥位に転倒し、右股関節付近を強打した。	59	99
5	10～ 11	2階病棟医療材料器材庫前で、資材搬入のため器材庫の上部にスペースを確認する作業をするため、荷車台車のストッパーをかけて台として上がったところ、台が移動し身体のバランスを崩して転倒し、左肘を強打した。	64	100 ～ 299
5	3～4	夜勤時、センサーマットが鳴ったため病室に駆けつけたところ、患者様がセンサーマットに足をつけたままベッドに座っていた。センサーの解除を行うために詰所に向かおうと病室を出た直後、右足をひねり転倒し左膝を床にぶつけた。	59	50～ 99
5	11～ 12	病院栄養科調理室にて、下処理台から配膳車に向かうため小走りで移動していた時、濡れた床で足が滑り左前方に前のめりに転倒し、左手を床について左肘に負荷がかかり負傷した。	25	500 ～ 999
5	8～9	出勤時、就業先敷地内の駐輪場にて路面の段差に躓き転倒し、左前腕部と右膝を路面に強打した。	26	30～ 49
5	15～ 16	事務所内で移動中、ケーブルモールに躓いて（段差1.5cm）転倒した。	57	100 ～ 299
5	11～ 12	病棟の浴室内で、患者入浴介助の片付け作業をしようと歩いていると転倒した。サイズが大きい長靴を履いての作業だったが、おそらくランドリーボックスに躓いたのだと思われる。入力介助はルーチン作業となっていて内容・環境ともに慣れている。当日は体調も良好であり、床が滑りやすいという状況もなかった。	54	300 ～ 499
5	11～ 12	病院内の整形外科待合室前で、患者様に診察終了後の会計ファイルを渡す際に、椅子の脚に躓き転倒した。	66	500 ～ 999
5	17～ 18	日勤勤務終了後、帰宅するため砂利のある通路にて砂利に足を滑らせてしまった時、膝がギグッとなった様な音がし、歩くのも困難な状態となった。	53	300 ～ 499
		病院の透析センターで、患者様をストレッチャー（患者搬送機具）からベッドへ		100

5	8～9	移動した後、自分がストレッチャーとベッドの間から出ようと移動した時、ストレッチャーの車輪に躓き転倒した。	58	～ 299
5	11～ 12	病院内で機械浴の入浴介助清掃後、使用したデッキブラシを隣の浴室に返却しようと廊下に出たところ、モップの柄に引っ掛かり転倒した。	57	100 ～ 299
5	14～ 15	リフレッシュ研修会で、スポーツ大会でドッジボールに参加中2回転倒し足を2回捻って負傷した。	22	500 ～ 999
5	6～7	病棟デイルームで車椅子の患者様をテーブルにつけた時、左斜め後ろにいた患者様の入れ歯が欲しいと言うジェスチャーに対応しようと身体を左に向け後ろへ下がろうとしたところ、テーブル席の車椅子の車輪に右足ふくらはぎが接触し後ろへ仰向けに倒れ、後頭部を打った。	61	300 ～ 499
5	15～ 16	病院3階手術室の休憩室において、モップで床掃除をしている時に右足がもつれ、後ろ向きに転倒し、後頭部を戸棚にぶつけた。立ち上がろうとしたが、痛みで歩行できなかった。	29	100 ～ 299
5	14～ 15	契約業者が病院内の清掃をするために、入口でインターホンを押したので扉を開けに行く途中、床がワックスで濡れていたため滑って転倒した。転倒した時に右腰から落ち、右手を床に強くついたため、右橈骨を骨折した。	60	50～ 99
5	18～ 19	居室（4人部屋）で、患者様の食事介助をしている時（3人担当しており、同時進行）、1人の患者様にスプーンで口に食べ物を入れ、?んでいる間に次の患者様と思い、目の前の患者様の所へ行こうとしたところ、ベッドに置いてある電気アンカの電気コードが右足に引っ掛かり体が浮いた。バンザイの状態です左足を床に着いたが、着いた場所がゴミ箱に被せてあるスーパーの袋が床にはみ出ている部分で滑ってしまい、前のめりで転び、右膝、左膝、両手の順に床に落ちて強打した。	54	100 ～ 299
5	8～9	出勤時、就業先敷地内を歩行中、低い鉄板のスロープを通った際に雨で鉄板が濡れていたため足を滑らせ転倒し、左足首を捻った。	44	1000 ～ 9999

5	14～ 15	当院1C病棟デイルーム内にて巡視中、入院患者のトイレの介助をしていた准看護師から、トイレトペーパーを取りに行ってもらいたいと依頼され、歩行の通行方向を看護師詰所の方に約90度転回しようとしたところ、バランスを崩して転倒し、右膝蓋骨部を床で強打した。	61	100 ～ 299
5	8～9	出勤時、ユニフォームに着替えるため、病院敷地内の女子ロッカーのあるプレハブに向かっていたとき、道中の急な坂道を下っていたところ、滑って転倒した。その日は、雨も降っており路面は滑りやすい環境にあった。また、その道は雨の日以外であっても転倒しそうになる程の勾配であり、手すり等の安全策もなされておらず非常に危険であった。	26	1000 ～ 9999
5	10～ 11	病室にて、頭側に設置していた携帯用酸素ボンベを取り外し片付けるため病室から出ようとした時、ベッドのコードに足が引っ掛かり転倒した。その際に左膝を床に強く打ちつけ受傷した。	36	300 ～ 499
5	19～ 20	ゴミ出しが終わり、手を洗うため洗面台に歩いて行く途中に左足が前に滑り、右膝から床に落ち、右膝を強打した。	61	300 ～ 499
5	8～9	出勤のため職員駐車場に到着し、車を降りて更衣室に向かう途中でバランスを崩して転倒し、両手をついた。その後、右手に激しい痛みが生じた。	47	100 ～ 299
5	8～9	訪問看護に行くため、訪問看護ステーションの入り口を出たときにスロープの段差になっている所で足を挫いて転倒した。転倒の際に体重がかかってしまい、右第5足中足骨に負荷がかかり骨折した。	47	100 ～ 299
6	15～ 16	入浴棟で入浴介助が終わって片付けている際、床が濡れているので注意して歩いていたが、浴室と脱衣所の間のステンレスの所で滑って転倒した。その際、左半身を下にして倒れて左肘を床に打って捻った。	35	1000 ～ 9999
6	18～ 19	厨房内で、お膳を洗浄室に運んで来た際に転倒した。自力で起き上がれず、骨折した。床のタイルが濡れていて、滑り易くなっていたことが一因と思われる。	65	100 ～ 299

6	11～12	ナースステーションにおいて記録入力中に、ナースコールが鳴ったので患者様の所に向かう途中、床の上に置かれたプラスチック製の薬を入れている箱（縦36cm、横53cm、高さ33cm）に右足が躓き、右膝から床に打ちつけ、ほぼ同時に左膝と両手を床に打ちつけた。右足に痛みがあり、休憩に入った際に歩けなくなり、立てなくなった。その後右足をかばっていたため、左足も痛くなった。	55	100～299
6	7～8	通勤時、勤務先敷地内で、雨を除けて厨房前の通路を更衣室に向けて移動中、足場のぬかるみで滑って転倒し、左前腕部を受傷した。当日は、通常通り業務に従事し帰宅した。翌日、腫眼と痛みが続き、骨折の診断を受けた。	56	100～299
6	14～15	診療科にて、担当より検査オーダーの問い合わせがあり、確認のため診察室へ行ったところ、医療機器の電源コードに躓き転倒しそうになり、体勢を戻そうと踏ん張ったところ、右足先に痛みを感じ、骨折してしまった。	61	500～999
6	17～18	事業所内の廊下を歩行中、8cm程の段差を踏み外して転倒した。その際、左足の脛と踝を負傷し、左腓骨外果骨折と診断された。	60	100～299
6	9～10	OT室前ホールを歩行中、床に水たまりがあることに気付かず、スリップし転倒してしまった。背部から倒れたため、左背部、左後頭部を近くにあったソファ、及び床に打ち付けてしまった。被災直後に頭痛・吐き気があり、背部痛も持続しており、頸部・背部・頭部挫傷となった。	65	100～299
6	12～13	病院の3階病棟の食堂にて、患者さんの食事の配膳をしていた時、患者さんが使用していた歩行器があるのに気づかず、左足を歩行器の後ろタイヤに引っ掛けてしまい転倒した。（歩行器が配膳の動線上にあった。）	62	300～499
6	2～3	病院内の薬剤部で、点滴を取りに行き、点滴の棚の前で床にあるすのこに左足が引っ掛かり、左膝より転倒した。その際、左膝の腫張・発赤・痛みが出現した。	43	300～499
6	11～12	本院事務所へ書類の提出後、介護事務所へ自転車にて戻る途中、用水路脇のブロックに自転車の後輪が引っ掛かり、バランスを崩して用水路に転倒し、顔面を強打して負傷するに至った。	61	300～499

6	14～ 15	医薬品が入ったカートをスタッフステーションへ入れようとした際にカートが転倒し、そのはずみで自らも転倒し、手をついた際に負傷した。	57	500 ～ 999
6	16～ 17	シーツ交換を行っている時、側にあったソファに足が引っ掛かり、後方に転倒し、頭部と腰部を打撲した。	60	500 ～ 999
6	5～6	ポータブルトイレ内の片付け中、汚染した紙パンツを廃棄するため、両手がふさがった状態で移動をしていた。利用者の就寝中ということもあり、消灯中だったことと、足元を見ていなかった不注意により、置いてあった車椅子のフットレストに躓き転倒し、負傷した。	47	300 ～ 499
6	10～ 11	車椅子の利用者の入浴後、車椅子を入れ替えのため2名で対応中、正面より支えて立ち上げようとしていた時、利用者と共にバランスを崩し、浴室内で転倒した。	54	300 ～ 499
6	9～ 10	病棟から1階事務所へ書類を取りに行く際、少し下り坂の廊下にて下膳した食器から水がこぼれていたのに気付かず、足を滑らせ転倒した。その際に尻もちをつきながら、右手のひらを床についた。その時は痛みはあるが湿布で治ると思い、夜勤明けだったため帰宅し、湿布を貼って処置した。次の日、右肘が曲がらず強い痛みがあり、あざができていた。	37	100 ～ 299
7	13～14	室内に於いて、同僚とベッドシーツ交換作業終了のため、当該ベッド両側ベッド柵を挿入するため、両手で当該柵を持ち上げた時バランスを崩し転倒、当該柵の上に身体が倒れたために当該柵と床面に抜けなかった左手を挟み負傷した。	63	300 ～ 499
7	13～14	小学校で門柱解体の作業をしているときに、切断機（エンジンカッター）で、コンクリートの門柱を切断する際に、門柱内に鉄筋があることを想定し作業を進めていたが、集中力・注意が足りなく切断機の刃が鉄筋に当たり、切断機が跳ね返り切断機の刃により顔左側を切ってしまった。	57	100 ～ 299
7	13～14	病棟内にて、リネン交換作業のため布団を持って運んでいたが、足元が滑り、布団をかかえたまま、前方に転倒、右手首と指を骨折、捻挫した。	55	300 ～ 499

7	14~15	病院病棟において、病棟清掃作業中、病室内清掃後、廊下にモップをかけようと両手にモップを持って歩いていたところ、廊下に掃除機が出ていることは視認していたがコードには気付かず、コードに足をひっかけ転倒した際、床面に左頬、左上肢を打ち負傷した。	69	100 ～ 299
7	7~8	バイクで転倒しているスタッフがいたので助けようとバイクで起こそうとしたところ急な坂のためバックしてきてささえきれず尻餅をついた。（病院の敷地内において）	62	100 ～ 299
7	17~18	当社製品置場において、トラックの荷台にコンクリート製の蓋を積み込んでいたところ、腰の右側に痛みを感じたがそのまま作業を継続し勤務終了後、痛みが治まらなかった。	26	100 ～ 299
7	11~12	4F機械室より廊下に出る際、少々床が水濡れしていた。長靴で一步踏み出した時、床で滑り転倒。左側面の左目上部、左手首付近、左腰部を床に強打。各部痛みがあったが、中でも左手首に激痛が走った。	68	100 ～ 299
7	12~13	病棟にて各病室のラウンド業務中、東棟221号室入口前の廊下にてUターンしようとして振り返った際、右足が床につまずき転倒、その際左胸部、左右膝及び左手首を床に強く打ち打撲する。	64	300 ～ 499
7	16~17	交差点に向かって、渉外営業後、帰局しようとバイクで走行中、急な大雨に遭い、視界もあまりよくないところ、直進から右折レーンに入る車に気をとられたこともあり、ハンドル操作を誤り、濡れた路面の線上で、スリップして、転倒した。内務業務をしていたが、通院加療の経過が思わしくなく、3週間の休業加療との診断を受けた。	63	500 ～ 999
7	19~20	精神科急性期治療病棟において、患者が不穏行動をとったため、保護室に誘導しようとしたが、スタッフの手に噛みつこうとするなどの抵抗があった。そこで5名体制で対応したが、それでもスタッフの手を振りほどいて男性スタッフの右眉部に噛みついた。その際、患者が手を振り上げたため、避けようとしてバランスを崩し、転倒して床で腰部と後頭部を打撲した。	53	100 ～ 299
		入院患者様の入浴準備中、患者様を車椅子に乗せる時にバランスを崩し転倒す		300

7	11~12	る。転倒の際、患者様の下敷きになり、左大腿骨を骨折する。	59	～ 499
7	17~18	退勤時間となり、担当病棟から事務所へ向かう途中の下り坂で、左足が滑り右足と交差した状態（左足が前）で前方に2回位転んだ。その際、左膝を痛めた。	69	100 ～ 299
7	15~16	1病棟観察室にて患者様をベッドから抱きかかえ車いすへ移乗する際に、床が患者様のよだれが落ちて濡れているのを知らず足を滑らせ足趾の第3、4趾が黒ずみ足の痛みが酷く、右第3、4趾中節骨骨折と診断された。	34	100 ～ 299
7	10~11	ホール東側より廊下へ移動するため左折しようとした際、床に清掃後の水濡れがあったため、滑ってバランスを崩し転倒した。左側に上体が崩れたため、左手を床につき、上体を支えようとした。その際、左顔面も打撲した。	55	100 ～ 299
7	9~10	事業所病院内において、オムツカートと同僚1名と共に押して歩いていたところ、誤って、カートに足を引っかけて転倒した。転倒する際、右足を捻り、右大腿部を負傷した。	58	100 ～ 299
7	17~18	病院内の厨房で配膳作業の前に台車の角にぶつかり転倒。その際、両手をついたため左腕に痛みと腫れが出た。	59	100 ～ 299
7	3~4	3F病棟で夜勤業務に就いている時、302号室で介護職員が誤って水をこぼしているのを知らず見廻りに行った時、そこで足をとられ膝をひねり尻餅をついて負傷した。	60	100 ～ 299
7	10~11	介護職員1名が車椅子患者3名を2階までエレベーターで搬送していた。エレベーターが2階フロアに到着したので、扉開延長ボタンを押して、2人の患者を降ろしていた。車椅子患者1名がエレベーターの中にいる階段で扉が閉まりかけたため慌てて乗車口にあるエレベーターボタンを押そうと駆けつけたところ、つまずき転倒した。	70	300 ～ 499
7	14~15	患者介助中、浴室で転倒し、左手をついてしまった。	69	100 ～

				299
7	22～ 23	病院の病室内において、移動に介助が必要な入院患者が車椅子に乗る際、患者を支える介助をしていたところ、被災者がバランスを崩した。足を着こうとした場所には車椅子の足置きがあり、それを避けたところ、左足背外側を下にして着地してしまい受傷した。	42	1000 ～ 9999
7	10～ 11	当直医師用の浴室で、バスシューズを履き、洗い場に洗剤を撒いて掃除をしようとしたところ、滑って体勢を崩した。その際、バスシューズの中で右足親指を捻り、痛みが生じ歩行が困難になった。	70	50～ 99
7	12～ 13	厨房で清掃のため布巾を洗いに行く途中、清掃のため排水口の蓋が開いているのに気付かず転落した。	66	500 ～ 999
7	7～8	5F病棟病室前の平らな廊下を歩行中、床に躓き、足がもつれた際、開いていたドアの端に頭部をぶつけた。その際、体をかばい床に左手をついたて骨折した。	58	100 ～ 299
7	9～ 10	病棟の病室内で患者1名のオムツ交換を終了して動こうとしたところ、その患者のバルーンカテーテルバッグの紐が足首に絡んでいた。歩こうとした際に気付いたが転倒し、別の患者のベッドボードにぶつかり、床に転倒して左肩を強打した。	53	100 ～ 299
7	16～ 17	浴室の脱衣場にて患者の着衣介助中、患者の右から左へ移動しようとしたときに足が滑り、電動車椅子のフットレストに左足首があたった。	51	300 ～ 499
7	21～ 22	就業場所2階ナースセンターにて、室内を移動中、電子機器のコードに躓いた。その際、近くにあったワゴンに頭をぶつけると思い、右手でワゴンを押し衝突を回避したが、左肩から転倒して負傷した。	62	50～ 99
7	12～ 13	休憩後、仕事に戻ろうと1階食堂から2階病棟へ急いで階段を上がり、上ってすぐの廊下に置いてあるポールに左足を引っ掛け転倒した。	66	300 ～ 499

7	16～ 17	通所リハビリの職員である本人が、通所リハビリの送迎時に、利用者宅の駐車場で、本人が運転席から降りるとき、両足を着いて立とうとした際に右足が滑り、咄嗟に右手を着いて転倒した。その場所は床がすり減っていて、砂利で滑りやすくなっていたため、その砂利で滑って、右手を着いて転倒を防ごうとして負傷した。	41	10～ 29
7	15～ 16	精神科病棟のデイルームで、入院患者が不穏になり、それを止めようとして走ったところ、床にジュースが撒かれていた。濡れていたことに気付かず、滑って転倒し、腰部を強く打ちつけた。	30	300 ～ 499
7	11～ 12	食堂にて職員昼食リストの確認をしているとき、心室細動で意識を消失して転倒し、頭部左側を強打した。	61	500 ～ 999
7	14～ 15	東4階病棟にて、車椅子ごと測定する体重計で患者の体重を計測後、車椅子の後ろに回り込んで降ろす際に、体重計の角に引っ掛かり転倒し、両膝と右肩を打撲した。	58	500 ～ 999
7	5～6	4階病棟のナースステーションで、足を組んで椅子に座っていた。巡視のために椅子から立ち上ろうとしたとき、足の感覚が無く、バランスを崩して転倒した。その際に右足を強く捻り、痛みと腫れがあったため受診した。	35	100 ～ 299
7	16～ 17	外来棟2階Sブロック付近（エスカレーター前）にて、来客を見送るために急いで移動していたとき、廊下で靴が滑り転倒した。	32	1000 ～ 9999
7	9～ 10	病室で患者をベッドに移乗後、車椅子を後方に下げているとき、車椅子の右側タイヤ周囲の金具に足を挟み、車椅子と共に右側へ横転した。	58	50～ 99
9	11～ 12	当院、新館4棟の院内デイルームで昼食の為、患者様を誘導している時に廊下の床が少し濡れていたのを気づかずに足を滑らせて前方に転倒し、膝、目頭を強打し負傷した。当院で湿布等の処置をして勤務し、翌日は休み（土曜日）だったので自宅で安静にし、日曜日は出勤の為、湿布等の処置をして勤務したが、痛みが緩和されず、受診した。	60	100 ～ 299

9	8～9	当院病室から準備室に行くため、廊下を急いで歩行中、靴が床面に引っかかり前方へ転倒し負傷した。	67	300 ～ 499
9	17～ 18	仕事中に廊下を歩いていて左足を捻って負傷した。	38	50～ 99
9	13～ 14	病院2階の洗濯場から台車にタオルを積んで運ぶ際に、足が台車にひっかかり、躓いて転倒、その際に右手を床について右手首を痛めた。	67	100 ～ 299
9	16～ 17	病室内にて看護師業務を行っていた、車椅子乗車中の患者さんに、クッションを当てようと、室内手摺りに干していたので取りにいった。患者さんの元に行こうとした際、ベットのストッパーに右足をひっかけてしまい、左手を下にして横向きに転倒して受傷した。	70	300 ～ 499
9	1～2	夜勤帯の巡回中患者よりトイレ介助の要望があり、トイレへ誘導し介助後病室誘導を行う。病室内は就寝時刻であり消灯された状態で、多床室ということもあり電気をつけず臥床介助を行っていた。明かりは出入り口横にあるフットライトのみであり、介助を行っていた際に1歩後ずさりをしたところ患者のくつがそこにあり、そのくつに足がからまりバランスを崩したところから、後ろ向きに転倒、左殿部、腰部、左背部を強打する、明かりが介助を行っていたベッドの方まで届いていなかったため、くつがみえていなかった状況がある。	38	50～ 99
9	11～ 12	調理場で食材を取りに行き、物を持って帰る時に溝が浮いている場所につまずき転んでしまい、右膝骨折したものである。	55	500 ～ 999
9	20～ 21	病院内西館3階廊下にて患者に用いる容器（ガーグルベースン）を輸送中に躓き転倒、負傷する。	59	300 ～ 499
9	14～ 15	一般病棟ナースステーションで机に向かって立ち、右手に電話子機、左手に電話番号一覧を持ち番号を確認していた時に、少し右斜め後ろで移動したところ、丸椅子の足に右足が引っかかり後ろ向きに転倒した、床で臀部を打撲した、その	52	100 ～

		後、仙骨骨折と診断を受けた。		299
9	15～ 16	運動療法室にて転倒リスクの高い患者さんを近位監視で歩行介助中、患者さんがふらついた為、正面から支えようとしたが、支えきれず患者さんとともに左側方へ転倒し左膝を打撲した。	35	100 ～ 299
9	8～9	第3診察室後ろの通路で、クロロ酢酸を取りに行こうと処置室へ歩いて行っていた、床には何もないがつまずいた、靴の調子があまりよくなく、最近よくつまずいていた、足が床につまずいて転倒し、左肘を打撲した。	58	10～ 29
9	10～ 11	当院2階の患者様の病室から2階ナースステーションへ向かう廊下において、両手に使用後の点滴を持って歩いているところ、業者による清掃作業後で廊下が濡れている状態であったため、右足が滑り転倒しそうになった為点滴を持った状態で手を床についた際に左第5指を負傷した。	48	10～ 29
9	9～ 10	日勤業務で安全係を担当中、デイルームにて患者様の安全を見守りながら車椅子を所定の位置に片付けた際、白衣のズボンのすそが車椅子車輪支持棒に引っかかり、バランスを崩し左側に転倒する、自力での起立不可、左大腿部から左殿部にかけての疼痛あり救急外来受診にて、左大腿骨頸部骨折の診断を受ける。	57	100 ～ 299
10	15～ 16	患者様搬送のため、ストレッチャーで移動しようとした際、ストレッチャーがベットに引っかかり本人の手が離れた瞬間、ストレッチャーの車輪部分に足が引っかかり転倒、膝から床に着き、右膝を負傷した。	56	100 ～ 299
10	14～ 15	入浴介助の作業中シャワーホースに引っかかり転倒し、右肩を痛め腕が動かなくなった。	59	300 ～ 499
10	15～ 16	ベッドサイド脇に垂れ下がっている隣のベッドに移動時、垂れ下がっていたラインに右足をひっかけ、ナースシューズが脱げ右足からフロアーに転び右膝を強打、左手首強打した。	58	500 ～ 999
10	15～ 16	医院の敷地内にある半地下の蔵の中が台風21号の雨で浸水してしまい、その溜まっている水を外へ汲み出すために、蔵に通じる階段を下りている途中、滑って転倒し、背中を打った。	49	1～9

10	12～ 13	HK（掃除）課プレハブ棟2階の控室において昼休みを終え、勤務場所に向かおうとした際に、右足が隣のイスに引っ掛けてしまい転倒。自分の後ろの、テーブルの脚に左手第5指をぶつけてしまい脱臼した。	47	1000 ～ 9999
10	10～ 11	両手にトレイを持ち運んでいる時に、ガスコンロの種火着火用のゴムホースに右足が引っ掛かり転倒した。その際に左足を捻り負傷した。9月にガスコンロを新しく購入し設置した為、種火着火用のゴムホースが以前より長くなっていて足が引っ掛かってしまった。	70	100 ～ 299
10	10～ 11	病室内患者のオムツ交換終了後、移動しようとし、ベッド下のコードに左足が引っかかった。転倒を防ぐためベッド柵につかまろうとしたが、空振りし、更に体全体をひねりながら、左足ひざ下の皿の部分でベッド柵にぶつけながら左体側部より転倒した。打ちつけたひざなどが痛みが強く走ったが、冷やしたり、対処し、当日は日勤を最後まで続けた。	68	100 ～ 299
10	16～ 17	病棟内で夕薬を配布している時、患者様が転倒しそうになっているのを発見し、患者様を支えようとしたが支えきれず、自分自身も転倒し負傷した。	48	100 ～ 299
10	12～ 13	当院入院中の男性患者様を昼休みの為、1階から2階の自室へ誘導する時に、1階の女性病室に入室したことを注意したところ逃走。焦って病室入口にてサンダルを脱ごうとした時に受傷した下腿を痛める。	43	50～ 99
10	17～ 18	タイムカードを打刻し帰ろうとした際、忘れ物に気づき2階病棟ナースステーションへ取りに行った時、両手に荷物をたくさん持っていたためバランスを崩し前方へ倒れ右おでこ、右手、両膝を床で強く打ち負傷した。	47	100 ～ 299
10	14～ 15	3病棟1階詰所から2階へ上がる中庭の螺旋階段手前で雨上がりで足元が濡れていたため滑って転倒、右肘を強打した。	68	100 ～ 299
10	9～ 10	特殊浴室より患者搬送のため、靴が濡れていた状態で廊下へ出てしまう。その時、少し早歩きであったため、足元がふらつき、エレベーターの前あたりで右足が滑り転倒し、左手でかばったため、その反動で左顔を強打した。	48	100 ～ 299

10	17～ 18	210号室の患者さんのベット脇でポータブルトイレ介助後、夕食準備のため、枕元を整え起き上がられない様に声掛けしながら後ずさりして退室しようとして、センターマットのコードに足を引っ掛けバランスを崩し、ポータブルトイレ側に倒れそうになったので避けようとして、後に倒れた。その際に左手をついて、尻餅をついた。	56	100 ～ 299
10	15～ 16	職場（HCU）のフロアで。患者様の付けていたO2チューブ（O2ボンベと接続）に横を通りすぎようとした時に右足を引っかけて前方に転倒、その時にフロアで右足膝を殴打。	63	1000 ～ 9999
10	15～ 16	患者様の洗濯物を整理して配っていたところ、当日は入浴介助日で廊下に水滴が落ちていた様でお風呂場の先の207号室前で水滴を踏んでしまい、滑って左膝を付いて転んでしまった。	56	50～ 99
10	17～ 18	夕食が終わり配膳車を厨房に下ろして病棟に戻ろうとしていたら呼び止められ、慌てて振り向いたら転倒して座り込んでしまう。その後立とうとするが左アキレス腱が断裂していて動けなくなる。	33	10～ 29
10	9～ 10	整形外科外来前で患者問診中、医師に呼ばれたため、小走りで向かったところ診察室前で勢い余って転倒し、尻餅をついた。臀部痛により、起き上がることが出来なかった。	63	100 ～ 299
10	18～ 19	夜勤中、患者様の入れ歯を洗うため病室内の洗面台に行く際、病室内のコンセントコードに足をひっかけてしまったが、入れ歯が割れたらいけないと思い、入れ歯から手が離せなかったため、肩から倒れ右肩を脱臼した。	58	100 ～ 299
10	15～ 16	食堂から出た患者さんを追うため、体勢を変えて歩き出したところ、足が絡まり転倒した。	50	300 ～ 499
11	18～ 19	配膳車を一人で搬送中、一度止まっていた。自動ドアが開いたので、移動させようと勢いをつけて引っ張った際、右足が配膳車と床の間に挟まり、前に倒れた。足が抜ける時、ゴリゴリという音がした。痛みが強く、歩行出来ない状態になった。	24	500 ～ 999

11	16～ 17	病室にて吸引用ボトルの水を交換した際、洗面台の傍に置いてある空気清浄機のコードに引っ掛かりボトルを持ったまま前屈みで転び、その際腰を強打する。	64	100 ～ 299
11	17～ 18	透析室内の中央付近にて、透析に関わる看護業務中に通路のスロープと処置床との段差を踏み外し、左足首の関節外果を骨折した。	48	30～ 49
11	16～ 17	物品倉庫内の紙オムツの入ったダンボール箱を棚からおろそうとした際、足元がふらつき転倒した。その際左手首から床について体重をかけたため、受傷した。	76	300 ～ 499
11	17～ 18	病棟に夕食の入った配膳車を入れ、病棟から出ようとした時、入院患者が走ってきてぶつかって転倒し、尻もちをつき尾骨を骨折した。	34	1000 ～ 9999
11	10～ 11	入浴介助時ストレッチャーからベッドへ移動の際、患者様が点滴をしていたため2人で患者様を担ぎ上げ被災者が点滴を持ちベッド移動をしていたところ、酸素のルートが足に絡み長靴を履いていたため酸素のルートが足に絡んでいるのに気付かず転んでしまい、右膝を骨折した。	49	100 ～ 299
11	15～ 16	就業中、2階から1階への階段での降下時に、最下段付近で躓き転んだ。結果、右足首を捻挫した。	55	100 ～ 299
11	8～9	食堂にて、利用者様の口腔ケアを行う為、向かう際ナースが朝の服薬介助を行っていた時にこぼれていた水で滑り右足が前方に出た状態で転倒、右足膝に痛みあり鎮痛剤を服用するも痛みは消えず歩行出来にくい状態が続く。	31	500 ～ 999
11	18～ 19	ナースステーション横のゴミ集積場にて、ゴミを出す作業を行っていたところ、段差があり足を踏み外し体の右側部分を下にして転倒した。転倒後に夜勤看護師に患部を湿布してもらった。次の日に痛みが激しくなり、病院に行き、診察してもらった。	62	100 ～ 299
11	19～ 20	2階病棟のエレベーター前にて透析終了後の患者様をベッドで搬送後に透析室へ戻ろうとした時に、ベッドに敷いているエアーマットのチューブに足が引っ掛か	56	300 ～

		り転倒し受傷した。		499
11	18～ 19	病室ベッドサイドで患者の服薬介助をしていた時、患者が外した酸素チューブに引っ掛かり転倒し、骨折した。	60	100 ～ 299
11	13～ 14	当院療養病棟入浴室で、お風呂のお湯張りが終わり、コックをしめた後、ゴムのサンダルに履き替え患者様の入浴の準備をしている時に、濡れた床でサンダルが滑って前のめりに転倒し、浴槽の縁で顔面を強打した。直ちに当院内科医の診察を行い、CT上、鼻骨骨折を認めた。右上顎にも変化が疑われたので、専門の病院への紹介を検討し、本人受診歴のある病院の形成外科に受診することとなった。	71	100 ～ 299
11	14～ 15	病院内中央階段にて、リネン庫の鍵を取りに行くため階段をのぼっていた際、足を踏み外して右手をついた。その際、右手が反ったようになり、以後腫脹に疼痛が発生した。	48	300 ～ 499
11	11～ 12	当院グループホーム屋上にて、ポータブルを洗い移動のため、屋上の水溜まりの中を歩行し、右足を置いた際に滑り、両足同時に開脚状態となり、右脚をアスファルトの床面に強打し負傷したものである。	54	100 ～ 299
12	14～15	調理場にてダンボールを片づけようと両手で持ち歩いていた（業務時間終了間際であわてていた）。排水口のフタが開いていた事に気づかず左足が排水口の中に落ち転倒した。	70	300 ～ 499
12	17～18	帰宅途中、職場敷地内を歩いていたところ、雪の塊につまずき足を滑らせて転倒した。転倒の際、うつ伏せに近い状態で右肩と右腕を強く打った。当番病院を受診したところ、骨折と診断された。	64	—
12	15～16	敷地内のゴミ捨て場に向かう途中、地面の氷で滑り転倒した。その際、左肩を強く打し、首左側にも強い痛みを感じた。その日の業務を終了し、自宅で様子を見たが、首左側や左腕の痛みが治まらないため、後日整形外科を受診した。	26	100 ～ 299
12	16～17	厨房内で、バットを手に持ち、所定の位置に片づけ作業中に、3cm程度の段差に落ち、そのまま転倒した。踵を着けば歩行可能であったため捻挫と思っていたが、翌日に受診した結果、骨折であると判明した。	63	50～ 99

12	8~9	当院内廊下にて、患者さんに尿コップを渡した後、処置室に戻る際に、滑って転んで手をつき、右手を骨折した。	63	10~ 29
12	7~8	職員駐車場で車から降りた際に氷に滑ってしまい転倒し、左膝半月板損傷となった。	39	500 ~ 999
12	7~8	出勤時、病院内駐車場に駐車し、数歩歩いたところで転倒し、右臀部と左手首を痛めた。臀部はまもなく痛みが消失したが、手首の痛みは増強し、受診後、入院・手術となった。	64	100 ~ 299
12	8~9	病院内のごみを集め、両手にごみ袋を持ちごみ置場へ向かって救急入口より外へ出て歩いていた。当時は積雪もあり路面も凍結していた。気をつけて歩いていたが、誤って滑ってしまい転倒した際に手を地面についてしまい受傷した。	58	100 ~ 299
12	10~11	管理室調理場内で、調理器具のコンベクションを清掃中、床にこぼれた水に足をとられ滑って転び、臀部を強打し、そのまま後ろに仰向けに倒れ、一瞬意識を失った。臀部の痛みと、深呼吸すると胸が痛み、息苦しかった。	63	100 ~ 299
12	7~8	出勤し、職員駐車場に車を駐車してから就業場所である病院建物に移動中、道路と病院施設内駐車場の境に張りつけてあるチェーンに左足が引っかかり転倒し、右上腕と、左大腿部を負傷した。	49	—
12	15~16	診療所内で透析患者の診まわり中、歩いていた足をくじいた。	42	30~ 49
12	13~14	浴室脱衣場掃除用の長靴と手袋を着用し、掃除機がけを始めた。左側に移動する為、向きを変える時にコードに足をとられ転倒した。浴室掃除をしていた同僚が大きな音がしたので駆けつけ、声を掛けられた際、右側を下にして倒れていた。立ち上がるが頭がボーっとしていた為、しばらく椅子に座って休んだ。翌日、肋骨と右腕も痛かったが病院が休診のため自宅で安静にしていたが、まだ頭がボーっとしていたので不安になり、脳外科で受診した。右肋骨の痛みは徐々に軽減したが、右腕の痛みは改善しなかった為、後日に整形外科を受診した。	66	100 ~ 299
		車椅子トイレから歩行にて帰室する患者の左側からズボンに手を添え、付き添っ		1000

12	13~14	ていたところ、患者の左足が脱力し、倒れそうになった。転倒を防ぐため、必死に踏ん張ったが、支えきれず、患者の体が自身に覆いかぶさるように転倒し、右足を捻ったまま倒れてしまった。	39	～ 9999
12	9~10	看護助手2名で当直室のシーツ交換を行う時、壁に寄せてあったベットを人が入る位に開け、新しいシーツを取ろうとした時、ベットの脚に右足を引っ掛け、右斜め前にうつ伏せに倒れると同時に反射的に左膝が出て床に強く打ちつけ左膝蓋骨を骨折した。	62	～ 299
12	12~13	訪問リハビリ終了後、利用者宅からステーションに戻る道中でトイレ休憩のため、スーパーマーケットに立ち寄った。店内を出て訪問車へ向かう途中、凍結した駐車場にて右膝が曲がった状態で後方に転倒し、右足首・右掌を受傷した。	29	～ 299
12	15~16	病室前の廊下にて、入浴予定の患者が入浴可能であることを確認するため、担当の看護師を探していた。当日は欠勤者もあり、予定よりも早く入浴を開始するために慌てており、そのため足を滑らせて転倒し、右手を受傷した。	57	～ 299
12	17~18	終業後、事業場敷地内にある職員住宅へ行くための外階段を上る際、階段に躓き右手を強くついた。	31	～ 299
12	10~11	6B病棟の洗濯室で、洗濯した物を乾燥機に移そうとして、乾燥機のドアを右手で開けようとしたところ、左手で持っていた洗濯物が重く、ふらついて、右手を床につき骨折した。	71	～ 999
12	23~24	詰め所内にて、机に座り書きものを終えたあと、立ち上がろうとしたとき、机の脚とイスの脚の間に自分の左足が挟まったまま左横に転倒した。	45	～ 499
12	23~24	夜勤中、廊下のカウンターで見守りをしていたとき、患者がベッド柵を乗り越えようとしたため、声かけに行く途中、床が濡れていたために足が滑って左側に転倒し、左肩を打撲した。	55	～ 499
12	16~17	病院管理栄養部下膳室の食器洗浄機前で、食器消毒保管庫に食器の入ったかごを入れ、食器洗浄機から流れる食器を取ろうと移動した際に、滑って尻もちをつ	66	～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html